

科目コード	2698021	授業概要	【授業内容】 本授業は、「健康」と「運動技術」の2つの柱から構成されます。健康の維持増進のためにはどのような運動がなぜ必要なのかについて、実際に簡単な運動をおこないながら説明します。またスポーツにおけるパフォーマンスを高めるための「よい動き」「効率的な動き」とはどのようなものか、さまざまなスポーツの動きを映像で紹介しながら、筋の特性や力学的な側面からスポーツ技術について取り扱います。 【到達目標】 健康の維持増進のために適度な運動を継続的に実践することの必要性を理解し、運動の種類により身体に及ぼす効果が異なることを実際に簡単な運動をおこなうことにより、その効果の違いを説明できるようになる。またヒトの動きのメカニズムを知り、スポーツにおける効率的な動きとはなにかについて説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 ヒトが活動するためのエネルギー産出過程 第2回 健康のための運動の種類とトレーニング効果 第3回 ストレッチ、筋力トレーニングの意義と実践 第4回 加齢にともなう歩行動作の変化とエクササイズウォーキングの実践 第5回 ヒトの動きのメカニズム 第6回 筋の特性からみたよい動き 第7回 力学的法則からみたよい動き 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 事前の知識や経験は必要ありません。健康やスポーツに興味があれば、受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラパスの内容から判断して自己学習に努めて下さい。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、体育館シューズ、マット（ヨガマット等）と飲み物を持参し、運動できる服装でお越しください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	健康・スポーツ科学概論		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	24名		
担当講師	イノウエ シンイチ 井上 伸一 佐賀大学教育学部教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2698030	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 私たちが毎日の生活を過ごすうえで「お金」（金融）は欠かせません。本講義では、金融リテラシー（金融に関する知識・判断力）を高め、大人としてより豊かな生活を送っていくために必要な力（実学）を身につけることを狙いとしています。そのため、社会における金融・経済の構造や金融・生活に関する制度・仕組みなど、将来に向けて最低限必要な金融リテラシーについて学習します。 【到達目標】 本講義で取り扱うお金に関する各分野を理解し、社会の中で経済的に自立し、より良い生活を送っていくために欠かすことのできないお金に関する知識や判断力＝「金融リテラシー」を身につける。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション 第2回 日銀の役割と金融の基礎知識（日本銀行佐賀事務所） 第3回 ライフプランと保険（生命保険協会佐賀県協会） 第4回 ライフプランシミュレーション（生命保険協会佐賀県協会） 第5回 証券業界・証券市場って何だろう（日本証券業協会九州地区協会） 第6回 知っておきたい年金のはなし（日本年金機構佐賀年金事務所） 第7回 金融トラブル（福岡財務支局佐賀財務事務所） 第8回 講義のまとめとワークショップ 【学生へのメッセージ】 本講義は皆さんが自らの将来についてより深く考える機会となることを目標としています。座学で習得した知識を活用しライフプランの作成やグループワーク等のアクティブラーニングを通じて学びを深めていきます。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用ください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	金融リテラシーを身につける	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	24名	
担当講師	チャン ハンモ 張 韓模 佐賀大学名誉教授	
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 議論・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	授業概要 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット端末、スマートフォンは不可） ※パソコンを使用するのは11月21日（土）第4時限のみです 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等） 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが、種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です 4. その他受講生が当日用意するもの 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 第2回から第7回までは、各授業テーマに精通した実務家をゲストとして講話等をしていただく予定です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698048	授業概要	【授業内容】 日本史の教科書などにおける幕末維新史は、薩摩藩・長州藩の動向に焦点を当てて記述されることがほとんどです。いわゆる幕末の雄藩「薩長土肥」のうち、肥前佐賀藩に関しては、あまり取り上げられません。しかし、幕末維新期の佐賀の歴史を紐解くと、その存在感の大きさに驚かされます。この授業では、幕末維新期の佐賀藩、特に10代藩主鍋島直正や彼のもとで育まれ明治新政府において比類なき活躍をした佐賀人たちに焦点を当てることで、従来描かれてきた幕末維新史を捉え直してみたいと思います。 【到達目標】 幕末維新史を考える際に、通説にとらわれない視点をもつことができる。 【授業テーマ】 第1回 はじめに 第2回 鍋島直正と幕末佐賀藩 第3回 幕末佐賀藩の近代化政策 第4回 島義勇がみた蝦夷地、そして日本 第5回 パリ万博と佐賀藩の挑戦 第6回 日本の礎を築いた江藤新平 第7回 鉄道開業にみる大隈重信と明治の政局 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 「薩長土肥」の中でも、あまり語られてこなかった肥前佐賀藩。しかし、幕末維新期の佐賀は相当な存在感を持っていました。佐賀に焦点を当てることで、これまでとは異なる幕末維新像を描く一助になればと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「佐賀の視点から捉え直すことで見えてくる通説とは異なる幕末維新像について述べよ。」です。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀から見直す幕末維新		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	フジイ ユウスケ 藤井 祐介 佐賀県文化課施設・歴史資産担当係長(学芸員)		
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2698056	授業概要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 今や、一種の家電のようになってしまったコンピュータですが、決して、何らかの仕事を勝手にやってくれる「魔法の道具」ではありません。あらかじめ作り込まれた機構を、適切に制御することで、これらを実現しているのです。ここでは、その一連の流れをイメージできるように、まずはコンピュータの仕組みを概観し、数値をはじめとするデータの表現方法、基本的な情報処理を実現する回路について学びます。コンピュータの世界は「0」と「1」だけなのに、どのようにして四則演算やAIを実現しているのか、その秘密に触れてみましょう！ 【到達目標】 コンピュータの仕組みをイメージできるようになるため、数の表現方法と演算方法、それを実現する回路などについて学び、コンピュータの動作原理を理解したうえで、その概要を説明できる。 【授業テーマ】 第1回 コンピュータは4つの部分からなる：入力装置、記憶装置、演算装置、出力装置 第2回 コンピュータは手順に従って動く：プログラム 第3回 コンピュータは近似計算をする：有効桁数、二分法、桁落ち 第4回 コンピュータにおける数の表現：2進数、10進数、16進数 第5回 コンピュータにおける四則演算：加算・減算・乗算・除算、負の数 第6回 コンピュータを組み立てているもの：論理素子（AND・OR・NOT） 第7回 コンピュータにおける演算の実際：加算回路 第8回 情報通信技術（ICT）に関わる身近な話題 【学生へのメッセージ】 ここでは、コンピュータの仕組みをイメージできるようになることを目指します。もし疑問点などがあれば質問して下さい。なお、自学自習の助けとなるように、敢えて教科書を指定しました。参考にして下さい。 【受講前の準備学習等】 ここでは、指定した教科書の第2章、第3章、第5章（5.5-5.7を除く）を中心に引き上げます。これらの部分を、事前に読んでおいて下さい。斜め読み程度でも構いませんが、理解が困難なところを明らかにして、授業へ臨んで下さい。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポート（小テストを含む）の評点により行います。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	コンピュータの秘密を解き明かす		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	210		
定員	40名		
担当講師	ワカヤ ヒロシ 和久屋 寛 佐賀大学教育学部教授		
日程実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		【受講者が当日用意するもの】 インターネット検索などを織り交ぜて身近な話題を取り上げます。 1. 持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレットPC、スマートフォン等）。 2. OSの指定 種類は問いません（推奨OS：Windows11、macOS、iOS、Android等）。 3. ソフトのインストール インターネット閲覧用のブラウザが必要です。種類は問いません（推奨ブラウザ：Microsoft Edge、Chrome、Firefox、Safari等）。 4. その他 授業ではWAKABAにログインします。IDとパスワードを確認しておいてください。 【教科書】 ・新・コンピュータ解体新書【第2版】（清水忠昭、菅田一博／サイエンス社／¥1,815／ISBN=9784781914091） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698064	授業概要 【授業内容】 今ではたくさんのお薬が開発され、多くの病気を治せる世の中になりました。日本国内で使われているお薬の数は約2万5000品目あります。しかしそれでも重い病気に罹り、未だ適切なお薬がなくて困っている患者さんも数多くいます。また昨今のコロナ感染症のように人類がこれまでに経験したことがない病気が突然、新たに出現し、世界的に拡散することもあるでしょう。本講義では最新のお薬に関する進歩をご紹介します。この講義内容を明日、誰かに伝えたいくなるようなワクワクするようなテーマをまとめました。さあ、一緒に新しいお薬の世界の扉を開きましょう！ 【到達目標】 ・講義を通じて得たお薬の薬理作用について自分の「言葉」で論理的かつ系統立てて説明することができるようになる。 ・自分自身の考えや意見をまとめ、発表（プレゼン）することができるようになる。 ・日頃の生活においてお薬のニュースに対して興味を持ち、それらのトピックを深掘りして自分自身で学ぶことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 そもそもクスリって何ですか？（作用・副作用・西洋医薬品） 第2回 ここまで進歩して来たクスリの新しい投与方法（DDS・マイクロニードル） 第3回 血圧がちょっと高めのおなたへ（高血圧症治療薬） 第4回 糖尿病のクスリと痩せるクスリ（GLP-1作動薬・痩せ薬） 第5回 がん治療薬の最前線（化学療法・放射線療法・外科療法） 第6回 抗老化治療薬の未来（アンチエイジング） 第7回 ホルモンに作用するクスリ（毛生え薬） 第8回 将来に向けてあなたが考える今後のクスリの展望について 【学生へのメッセージ】 新しいお薬の研究開発に終わりはありません。有効なお薬がなくて困っている人々のもとへ、少しでも早く、良いお薬を届けたいです。さて、あなたは新薬の開発者です。どのような新薬を開発したいですか？Power Point等で作成した資料、またはPower Pointの使用が難しい場合は、手書き資料で、各自、口頭にてプレゼンをして頂きます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自主学習に努めてください。 インターネットの接続を希望する場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況およびレポート（パワーポイント資料の場合、A4サイズで4-5枚程度）の評点により行います。 なお、レポート課題は「今後、人類の幸せのためにあなたはどのような新薬を創りたいですか？」についてです。 【受講者が当日用意するもの】 プレゼン資料作成用としてご自身でノートパソコン等（Power PointがインストールされたPC）を持参・使用していただいても構いません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・セレンディピティと近代医学―独創、偶然、発見の100年（モートン・マイヤーズ（著）小林 力（翻訳）／中央公論新社／¥1,210／ISBN=9784122061064） ・「科学的思考」のレッスン 学校では教えてくれないサイエンス（戸田山和久（著）／NHK出版新書／¥946／ISBN=9784140883655） ・冒険の書 AI時代のアンラーニング（孫泰蔵（著）／日経BP／¥1,760／ISBN=9784296000777） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	明日、誰かに伝えたいくなるお薬の話	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	24名	
担当講師	テラモト ノリヨシ 寺本 憲功 佐賀大学医学部教授	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2689189	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 医療・教育・福祉などのほぼすべての領域で、クライアントと関わる際には、アセスメントツールの活用が必須となっています。各種の発達検査や心理評価尺度の中身や適用を正しく理解することが支援者にはもとめられます。本講では①パーソナリティーの理解のための描画法である「バウムテスト」、②IQや標準化の意味をみる適応行動全般の把握のための「vineland適応行動尺度Ⅱ」、③メンタルヘルスや精神疾患のアセスメントツールである「STAI」と「BDI」を実施します。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業全てに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。グループ討議があります。 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理アセスメントとは アセスメントツールの利用実態について 第2回 実習1「バウムテスト」 投影法について 第3回「バウムテスト」 レポートの書き方 第4回 実習2「Vineland適応行動尺度Ⅱ」 検査場面の設定等について 第5回 Vineland適応行動尺度Ⅱの集計 数値化と標準化の意義 第6回 Vineland適応行動尺度Ⅱ・結果のフィードバックについて 第7回 実習3「STAI」「BDI」 メンタルヘルス領域で用いられる心理尺度 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 心理検査の習得には訓練と熟練が求められるものが多くあります。その中から8回の基礎実習によって、実際に使用できるものを取り上げます。個人作業、グループ討議、意見発表等、積極的に参加してください。 【受講前の準備学習等】 心理検査における「信頼性」と「妥当性」について調べておいてください。他に、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 インターネットの接続を希望する場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 心理検査や記録に筆記用具を使います。検査レポートは、最終的にパソコンのWordファイルで作成して提出してもらいますので、ノートパソコンを持参ください。 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 4. その他 マウスを持参してください。 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・エッセンシャルズ・心理アセスメントレポートの書き方第2版(W.J.シュナイダー、E.O.リヒテンバーガー、N.メイザー、N.L.カウフマン著、染木史緒・上野一彦監訳／日本文化科学社／¥4,400／ISBN=9784821063802) ※一般書店での取扱いはありません。Amazonでの購入が可能です。購入は必須ではありません。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナカジマ シュンジ 中島 俊思 佐賀大学学校教育学研究科教授	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	

授業概要

科目コード	2689120	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間の授業の中で、2つの実験の実施、測定、レポート作成を行います。実験では、情報伝達とミューラー・リヤー錯視について取り扱います。体験的に実験について学び、理解をすることで心理学における実験の意義を理解することができる講義にしたいと考えています。 受講生の皆さんは原則として8回の授業にすべて出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学の実験とレポートの構成 第2回 心理学の研究手法と論文について 第3回 実験実習1（情報伝達） 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート執筆指導 第5回 前日の振り返りと統計について 第6回 データ分析のための統計法 第7回 実験実習2（ミューラー・リヤー錯視） 第8回 実験実習2のデータ分析とレポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 実験を実施するためにパソコンを使用します。ワードやエクセルの操作に慣れているほうが望ましいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 パソコンの操作に慣れていない方に関しては、練習していただけるとありがたいです。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの点数により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可） 2. OSの指定 Windows 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用しますが種類は問いません。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれかの科目からでも受講可能です。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	タナカ サキト 田中 沙来人 九州龍谷短期大学保育学科准教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	

授業概要

科目コード	2698072	【授業内容】 佐賀県出身、あるいは佐賀経済とのかかわりが深い企業家（アントレプレナー）の、起業や経営再建といった経営活動に注目する中で、経営に関する理論および方法、そして地域貢献などについて学んでいきます。具体的には、旧佐賀紡績を大和紡績によって経営再建させていく鐘紡の武藤山治（1867-1934）、伊万里出身で森永製菓を創業する森永太一郎（1865-1937）、蓮池出身で江崎グリコを創業する江崎利一（1882-1980）、北茂安出身でリコー三愛グループ諸企業を創業する市村清を取り上げていきます。 【到達目標】 起業や経営を行っていくために、経営の理論や方法について理解するとともに、設定した目標を達成するために取るべき戦略、組織の策定や経営資源の配置、マネジメント・サイクルの回し方、評価システムのあり方などについて、経営環境や目標の違いに応じて説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 日本の経営の祖・武藤山治が受けた教育や思想形成 第2回 武藤山治の鐘紡経営施策 第3回 武藤山治への旧佐賀紡績の経営再建依頼 第4回 武藤山治の経営再建対応 第5回 森永太一郎の森永製菓の創立と地域貢献 第6回 江崎利一の江崎グリコの創立と森永太一郎および彼の事業との関係 第7回 市村清のリコー三愛グループ諸企業創立 第8回 市村清の経営再建や地域貢献 【学生へのメッセージ】 経営の理論や方法について、深く、そして広くみていく授業になりますが、人物に即して理解していきますので、興味深かつわかりやすいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	企業家の起業や経営再建	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ヤマモト チョウジ 山本 長次 佐賀大学経済学部教授	
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2698080	【授業内容】 「文禄・慶長の役」の際の本営として豊臣秀吉が整備した肥前名護屋は、史上最大の軍事基地であり、莫大な兵站物資の集積地として都市的繁栄を遂げ、一時期は国政の中枢をも兼ねました。この授業では実際にその現地（唐津市鎮西町）に赴き、歴史の舞台に立って往時の遺構を目の前にしながら朝鮮出兵の実態を探っていきます。 【到達目標】 朝鮮出兵の経過・概要とあわせて、名護屋城・大名陣所・城下町から構成される巨大軍事基地「名護屋」の特徴について理解し説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 真説・朝鮮出兵No.1（実施会場：唐津ビジネスカレッジ） 第2回 真説・朝鮮出兵No.2（実施会場：唐津ビジネスカレッジ） 第3回 巨大軍事基地「肥前名護屋」の構成ー大名陣所の集合体ー（実施会場：唐津ビジネスカレッジ） 第4回 秀吉の巨城・名護屋城の実態（実施会場：唐津ビジネスカレッジ） 第5回 城下町の発生とその景観（実施会場：鎮西公民館） 第6回 フィールド・スタディーNo.1 大名陣所の見学 第7回 フィールド・スタディーNo.2 特別史跡「名護屋城跡」見学 第8回 フィールド・スタディーNo.3 佐賀県立名護屋城博物館見学 【学生へのメッセージ】 豊臣秀吉に関する基礎情報を持っていると、授業の理解度が向上します。書籍やインターネット、中学・高校の教科書などで予備知識をつけておいてください。 【受講前の準備学習等】 「学生へのメッセージ」をご覧ください、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具類を持参してください。フィールド・スタディが多いので、歩き易い服装・履物・帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・肥前名護屋城の研究ー中近世移行期の築城技法ー（宮武正登／吉川弘文館／¥13,200／ISBN=9784642029605） 【その他（特記事項）】 ・フィールド・スタディでは、徒歩で長時間の移動や坂道の昇降などがありますので、体力に不安のある方は科目登録時によくご検討ください。 ・フィールド・スタディは、当日の天候の状況に応じて時間割や見学コース等を変更する場合があります。 ・交通費は個人負担となります。 ・詳細は科目登録決定後、受講者へ通知します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	軍事都市「肥前名護屋」を 探る	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタケ マサト 宮武 正登 佐賀大学地域学歴史文化研究センター教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【10/24（土）は★唐津ビジネスカレッジ、10/25（日）は★鎮西公民館、名護屋城博物館および周辺（佐賀県唐津市松南町2番77号、佐賀県唐津市鎮西町名護屋1530番地、佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3）】で行います。	

科目コード	2698099	授 業 概 要	【授業内容】 さまざまな美術作品（資料）を見ながら、支配・被支配、差別・被差別の問題について考えます。同性愛者、黒人、娼婦、乞食たちは社会の中でどのような位置に置かれてきたのかを、彼ら／彼女らのイメージを通して探ります。宗教や性に対する人々の考えや、「他者化」するということ、差別－被差別の問題について考えるきっかけになることを開講意図とします。 【到達目標】 西洋の古代から近現代までの歴史を社会の周縁に属した者たちの視線から見るようになる。また、西洋美術史の大まかな流れと各時代の様式について理解を深めることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 異性愛と同性愛の図像、宗教と性 第2回 異性愛と同性愛 第3回 黒人、白人、東方の人々① 第4回 黒人、白人、東方の人々② 第5回 物乞いたち① 第6回 物乞いたち② 第7回 娼婦（あるいはユダヤ人）① 第8回 娼婦（あるいはユダヤ人）② 【学生へのメッセージ】 美術史が対象とするものは、博物館のガラスケースや台座の上に置かれている作品だけではなく、私たちのまわりに溢れるさまざまな視覚的イメージ全てが美術史の対象となるといっても過言ではありません。（本授業で取りあげる作品の中には、性暴力を含む性的なイメージが含まれます。） 【受講前の準備学習等】 高校までに学習する日本史と世界史の流れを復習しておいてください。また、教科書や参考書を指定しませんので、キーワードやキー概念となっているものを頼りに各自で文献を検索したり、ネットで情報を収集したりしてみてください。パソコン、タブレット等を持参してインターネット検索しても構いません。学習センターの無線LANに接続する場合はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記具、タブレットなど、ノートをとれるもの。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	美術史で辿る差別・被差別		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヨシズミ マコ 吉住 磨子 佐賀大学芸術地域デザイン学部教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2698102	授 業 概 要	【授業内容】 ヨーロッパ精神の古層にあるケルト文化、その名残を今も色濃く留めるアイルランド文化を妖精という切口で読み解いていきます。その際、比較文化の視点から、アイルランドの妖精と日本の妖精・妖怪・幽霊との比較によって、両文化の類似点、相違点などを深く理解することになります。 【到達目標】 異文化理解の中の異界の世界を通し、文化の深層にある宗教観、美意識、死生観などを説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 アイルランドの妖精とは何か。妖精と妖怪と精霊の違いを学ぶ。 第2回 宮崎アニメのなかに表れるアイルランドと日本の妖精。 第3回 片足の靴屋、レプラコーンについて。 第4回 シンデレラは妖精である。 第5回 アイルランドの浦島伝説、『アシーンの放浪』の中の妖精。 第6回 アイルランドの妖精の歌姫、バンシーが現代音楽に与えた影響。 第7回 総括1 第8回 総括2 【学生へのメッセージ】 異界の文化に興味のある方、歓迎します。 【受講前の準備学習等】 宮崎駿の映画、『となりのトトロ』『千と千尋の神隠し』『もののけ姫』を観ておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	妖精と アイルランド・ケルト文化		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	キハラ マコト 木原 誠 佐賀大学名誉教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2698110	授業概要	【授業内容】 素粒子の基本理論によると、粒子には必ず反粒子が存在することが知られています。反粒子は最初は宇宙線で見測され、その後、高エネルギー加速器の中で生成されていますが、粒子と出会うと途端に対消滅を起こして消えてしまいます。また、素粒子の基本理論は粒子と反粒子の入れ替えについてほとんど対称的であるため、現在の宇宙で見測される範囲では粒子から成る物質しか存在しないことは非常に不思議です。その理由は今なお不明であり、素粒子論と宇宙論で探究されているテーマです。本講義では、現在の宇宙では粒子の方が圧倒的に反粒子より多いと考えられる観測的事実を紹介し、どのようにして粒子だけが生き残って現在の宇宙ができているのかというストーリーを紹介します。
学習センター	佐賀学習センター		
学習センターコード	41A		
クラスコード	K		
科目名	宇宙の物質の起源		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	フナクボ コウイチ 船久保 公一 佐賀大学工学部教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		【到達目標】 ・素粒子の基本理論が反粒子の存在を示すことを理解すること。 ・現在の宇宙の観測から反物質がほとんど存在しない事実を知ること。 ・ビッグバン宇宙論と観測事実から、物質・反物質の非対称性が定量的に決められることを説明できること。 ・物質と反物質の非対称性が生じるための条件を知っていること。 ・物質と反物質の非対称性を説明しようとする試みを知ること。
			【授業テーマ】 第1回 反粒子の発見とその性質 第2回 素粒子の標準理論の概要 第3回 標準理論の中の物質・反物質の非対称性 第4回 ビッグバン宇宙論の概要 第5回 宇宙の中の元素の起源 第6回 観測から分かる物質・反物質の非対称性 第7回 非対称性の起源の可能性 第8回 標準理論を超えて
			【学生へのメッセージ】 ビッグバン宇宙論や素粒子の標準理論の概説も行いますが、事前に参考書などで自習して授業に臨まれると理解の助けになります。量子力学などの数式を用いた説明はしませんが、高校程度の数学(微積分など)を知っていると役に立ちます。
			【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。時間的に余裕があれば、参考書を読んでおいてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】 ・消えた反物質—素粒子物理が解く宇宙進化の謎(小林 誠/講談社/¥1,012/ISBN=9784062571746) ・宇宙と物質の起源「見えない世界」を理解する(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所(編集)/講談社/¥1,320/ISBN=9784065351918) ・素粒子物理学ハンドブック(山田 作衛(編集)/朝倉書店/¥19,800/ISBN=9784254131000) 専門用語の意味を調べるなど、辞書的に利用できます。

科目コード	2698129	授業概要 【授業内容】 発酵は微生物の能力を生かした生産技術の一つです。どうして微生物は発酵現象を引き起こすのでしょうか？微生物の種類や特徴を学びながら発酵に関する理解をより深めましょう。また、お酒は微生物が発見されるずっと昔から我々の生活の密接に関わってきています。そのお酒を造る現場（蔵元）を見学して、微生物が持っている素晴らしい能力を感じてください。 【到達目標】 発酵食品と微生物の関係性を理解し、伝統的な発酵食品（飲料）である清酒製造の現場を体験することにより、「発酵」という現象の意味を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 微生物とは？（実施会場：アバンセ） 第2回 微生物と発酵の関係性（実施会場：アバンセ） 第3回 発酵食品その1（実施会場：アバンセ） 第4回 発酵食品その2（実施会場：アバンセ） 第5回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第6回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第7回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第8回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 【学生へのメッセージ】 「発酵」という言葉はよく耳にしますが、その本質は何でしょうか？微生物が引き起こす様々な現象を「発酵」というキーワードを基に考えていきましょう。 【受講前の準備学習等】 身近な発酵食品に関して調べておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題は、「微生物にとっての発酵とは何か？」です。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 授業2日目は、基山商店で行いますので、現地集合、現地解散となります。利き酒をするので公共交通機関を利用してください。自家用車の方は利き酒はできません。 見学先：基山商店 〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151 https://www.kihotsuru.com/ 交通アクセスについては、上記ホームページをご覧ください。 学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター	佐賀学習センター	
学習センターコード	41A	
クラスコード	K	
科目名	微生物による発酵とは？	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	310	
定員	20名	
担当講師	コバヤシ ゲンタ 小林 元太 佐賀大学農学部教授	
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	この授業は、【1/9（土）は佐賀学習センターアバンセ第2研修室・1/10（日）は★基山商店（佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151）】で行います。	